

平成16年度岩手県立総合教育センター

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する研究

- 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムの作成をとおして -

(第1報)

研究協力校並びに研究協力員

花巻市立湯本小学校	校長	瀬川	敏彦
東和町立東和中学校	校長	松本	明良
岩手県立花巻農業高等学校	校長	昆野	安志

教科領域	教育室
及川	美子
佐藤	卓

目 次

研究の目的	1
研究の方向性	1
研究の年次計画	1
本年度の研究の内容と方法	1
研究の分析と考察	2
1 地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方	2
(1) 地域社会との連携による学校経営の意義	2
(2) 地域の学校経営参画のとらえ方	4
(3) 地域の学校経営参画の方向性	5
(4) 地域社会との連携による学校経営の進め方についての基本構想図	5
2 地域社会との連携に関する実態調査の実施及び分析と考察	7
(1) 地域社会との連携に関する実態調査の概要	7
(2) 地域社会との連携に関する実態調査結果の分析と考察	7
(3) 地域社会との連携に関する実態調査結果のまとめ	11
3 地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案	12
(1) 地域社会との連携による学校経営を進める基本方針	12
(2) 地域社会との連携による学校経営の推進要件	12
(3) 地域社会との連携による学校経営についての推進構想図	13
4 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムの作成	15
(1) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムのねらいと構成	15
(2) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の特長	15
(3) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案	15
研究のまとめと今後の課題	20
1 研究のまとめ	20
2 今後の課題	20

【主な参考文献】

- 【巻末資料】 補充資料1「地域社会との連携に関する実態調査」用紙
 補充資料2「地域社会との連携に関する実態調査」結果集計表

研究の目的

この研究は、各学校が、地域や学校の実態に応じて、地域が学校経営に参画できる条件の整備や体制の構築を行い、「開かれた学校づくり」を構想していく際に手助けとなる、地域社会との連携による学校経営の進め方を明らかにしていくことを目的とする。

学校は今、教育活動に関する説明責任・結果責任の遂行、外部評価も含めた学校評価に基づく経営改善の実施等、家庭や地域社会と密接にかかわる内容を包含する多くの経営課題を抱えている。今日、地域社会との連携は、学校経営を行う上で欠かせないものになってきているといえよう。

そこで、地域社会との連携に関する実態を把握した上で、学校の基本的方針の決定への関与、保護者や地域のニーズの反映、学校の活動状況の評価と評価結果の活用、等の地域社会との連携による学校経営の進め方の可能性を明らかにし、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムとしてまとめていきたいと考える。

研究の方向性

地域社会との連携による学校経営の進め方を明らかにするために、関係する実態を把握し、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を作成し、実践を通して吟味・検討を行い、提案することとする。

研究の年次計画

1 第1年次（平成16年度）

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方についての検討

地域社会との連携に関する実態調査の実施とその分析と考察

地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案

地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の作成

2 第2年次（平成17年度）

地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案に基づく実践

実践結果の分析・考察に基づく推進プログラム案についての吟味・検討

地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムの提示

本年度の研究の内容と方法

1 目 標

地域社会との連携に関する実態を把握し、その実態に応じた地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築を行い、地域や自校の条件を生かした地域社会との連携による学校経営の推進構想を立案し、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を提示する。

2 内 容

(1) 地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方についての検討

地域社会との連携に関する先行研究や文献から得た資料や情報を基に、地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方について検討する。

(2) 地域社会との連携に関する実態調査の実施及び分析と考察

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方を基に、実態調査を行い、分析し課題をつかむ。

(3) 地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案
地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方を基にして、推進構想を立案する。

(4) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の作成
推進構想及び研究協力員である小中学校、県立学校の各校長からの学校経営にかかわる情報や助言を基にして、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を作成する。

3 方法

(1) 文献法

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方をとらえ、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を作成するために、全国及び県内の先行研究や文献を収集し、構想に必要な資料や情報を得る。

(2) 調査法

県内の公立学校における地域社会との連携に関する実態調査を実施し、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の内容や進め方を構想する上で必要な内容をとらえる。

4 研究協力校並びに研究協力員

花巻市立湯本小学校 校長 瀬川 敏彦

東和町立東和中学校 校長 松本 明良

岩手県立花巻農業高等学校 校長 昆野 安志

研究の分析と考察

1 地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方

(1) 地域社会との連携による学校経営の意義

ア 開かれた学校をめざして

今、学校は教育活動に対する説明責任・結果責任の遂行、学校評議員制度、そして外部評価も含めた学校評価に基づく経営改善など、「開かれた学校」をキーワードとした教育改革のまっただ中にある。

このような教育改革が推進されている一つの背景には、児童生徒にかかわる問題が顕在化している現状に対し、保護者や地域住民から「学校は、問題を学校の中だけで解決しようとしている」「外に情報を出さない」など、家庭や地域に対して「学校教育が開かれていない」と指摘され続けてきたことがある。

開かれた学校づくりに向けて、第16期中央教育審議会（以下中教審）答申「今後の地方教育行政の在り方」（平成10年9月）は、「公立学校が地域の専門的教育機関として、保護者や地域住民の信頼を確保していくためには、家庭や地域社会に対してより一層開かれたものとなる必要がある」として、教育計画等の保護者や地域住民への説明、学校評議員設置による地域住民の学校運営への参画を求める方針を打ち出した。これを契機にして、学校評議員の設置を促す学校教育法施行規則等の一部改正（平成12年1月）、自己評価の実施と結果の公表についての努力義務及び積極的な情報提供を求める「小学校設置基準及び中学校設置基準」「高等学校設置基準」の制定や一部改正（平成14年3月）がなされた。

さらに、平成16年6月には、中教審答申「今後の学校運営の在り方」を受けて「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行われ、「教育委員会が指定する学校の運

営に関して協議する機関として学校運営協議会を設置し、その学校運営協議会は校長の学校運営の基本的な方針について承認を行う」という地域運営学校の設置が可能になった。また、文部科学大臣は、義務教育改革案として、保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域ぐるみで児童生徒の教育に当たることができるよう「学校評議員」「学校運営協議会」の全国的な設置を促進すること、すべての学校が教育活動や学校運営の成果について評価を行い、結果を保護者や地域住民に公表することや教員評価を徹底することなどを打ち出している。

このような潮流の中で、岩手県においても、平成14年5月1日「開かれた学校づくり緊急対応方策」が示され、「学校現場を透明性の高い組織とするとともに、児童生徒や保護者等の意見や提言が反映されるような条件整備を図り、従前にも増して県民に開かれた学校づくりをすすめる」として、学校評議員、学校評価の導入、個性輝く学校づくり等を実施している。特に県立学校では、平成16年度までに学校評議員設置並びに自己評価（実施と結果の公表）を100%行うこととなっており、また、小中学校においても速やかな実施が指導されているところである。

このような学校評議員制度、そして外部評価も含めた学校評価に基づく経営改善などの取組は、説明責任・結果責任を果たしながら地域に信頼される学校にするとともに、学校経営を保護者や地域住民に開くことを目的にした取組でもあり、いわば地域社会から信頼される開かれた学校づくりを目指したものである。

イ 地域社会とは

学校からみた地域とは、児童生徒一人一人の居住地を含めた日常生活に関係する範囲（生活圏）の総体と考える。地域社会とは、児童生徒の生活圏における保護者や地域住民のほか、地域の団体や組織、またそれらのつながりであるにとらえる。

今や小中学生の生活圏は学区を越えて広がりつつあり、高校生においては通学範囲からみても更に広い生活圏となっている。そこで、学校が連携すべき地域社会の範囲を、学校の具体的な教育活動を展開する際に理解と協力を得ることができる、学校の所在地を中心とした範囲と考える。

ウ 地域社会との連携による学校経営の可能性

地域社会との連携という場合、一般的に学校教育のために地域の資源や人材、情報等をいかに活用するかということを考えがちであるが、そのみならず、学校による生涯学習推進や地域の活性化のための連携も含まれる。そこで、右の【資料1】に示したように地域社会と学校との連携を双方向で行うことにより、大きな効果が考えられる。

学校が保護者や地域住民から協力を得る場合、その協力の陰には、地域の子どもたちによりよく成長してほしい、学校はこうあってほしいというような願いや意見がある。地域社会から信頼される開かれた学校づくりのためには、学校がその保護者や地域住民の願いや意見を受け止

【資料1】地域社会と学校の連携による可能性

学校における可能性

人材や環境等の地域資源の活用により、幅広い専門的な学習活動が可能になる
保護者や地域住民により、学校の教育活動の充実のための新しいアイデアが生まれる。
学校を理解されることにより、学校経営を支える人々、仕組みが生まれる。
創意工夫と継続的な協力により、学校の教育活動のスリム化が可能になる。

地域社会における可能性

学校施設の活用により、地域における生涯学習の場が確保できる。
学校支援ボランティア等により地域住民や保護者の学習意欲が高まるとともに、児童生徒から感謝されることにより地域住民などの自己実現が可能となる。
学校を中心としながら地域の文化や伝統が受け継がれていく。
教師の専門的な知識・技能等を、公民館事業等の地域活動に活用できる。
(参考 佐藤晴雄著「学校を変える 地域が変わる」)

め、反映させながら、協力を得て学校経営を進めることが重要であると考え。なぜならば、そのことにより保護者や地域住民に学校経営や教育活動に参画したという意識が生まれ、その後の協力や支援に結び付くとともに、学校を中心とした地域社会づくりにもつながるからである。

以上のことから、この研究における「地域社会との連携による学校経営」とは、「学校が、保護者や地域住民の願いや意見を取り入れ相互に協力しながら、学校教育目標を効果的に達成するために、必要な条件や体制を整備し、教育活動を創意工夫していく営み」ととらえる。

(2) 地域の学校経営参画のとらえ方

ア 地域の学校経営参画とは

地域の学校経営参画にかかわり、前出の中教審答申（平成10年）では、「地域住民の学校経営への参画」において、「学校が地域住民の信頼にこたえ、家庭や地域と連携して教育活動をすすめるために、学校の経営責任を明らかにする取り組みとして、学校の教育目標や具体的教育計画やその実施状況について自己評価し、それぞれ保護者や地域住民に説明することが必要」であり、また「学校が保護者や地域住民の意向を把握し、反映するとともに、その協力を得て学校運営が行われるような仕組みを設けることが必要」であると述べている。

そこで、本研究における「地域の学校経営参画」とは、「保護者や地域住民の学校経営や教育活動に対するニーズを学校の基本的方針や重点、教育活動等に反映させるとともに、保護者や地域住民の協力を得て教育活動の状況を評価・改善していくこと」ととらえる。ニーズとは、物事に対する願いや要望ととらえる。

イ 地域の学校経営参画の可能性

学校運営にかかわって、平成15年2月、岩手県教育委員会が保護者を対象に実施したアンケート調査の結果をまとめたものが【資料2】である。保護者は、学校運営について、全体の31.7%が「地域住民として意見を述べていきたい」を選択しており、学校として意見を求める場をもっと積極的に設定する必要がある。また、「ボランティアとして」、あるいは「自分の特技」を使ってかかわりたいというものを合わせると、全体の72.5%の保護者が学校の運営にかかわりたいと考えている。

【資料2】学校運営への関わりについて

調査名 保護者アンケート調査（岩手県教委）
 実施時期 平成15年2月
 調査対象 公立小中学校、県立学校に修学する児童生徒の保護者（169,641人）

問い

あなたが住んでいる地域にある学校の運営について、どのように関わっていきたいですか。1つ選んでください。

回答

学校運営について、地域住民として意見を述べていきたい。	31.7%
自分のもっている特技や技能等を学校教育に役立てていきたい。	13.7%
ボランティアとして手伝いがしたい。	27.1%
あまり関心がない	25.0%
その他	2.5%

出典 保護者アンケート調査結果報告書

このような保護者の期待に応え、保護者や地域住民の学校経営参画を推進することが重要であると考え。

地域の学校経営参画の可能性として、次の4点が考えられる。

保護者や地域住民が参画することにより、教育の方針や指導の重点、教育活動の実践に、保護者や地域のニーズを的確に反映させることができる。

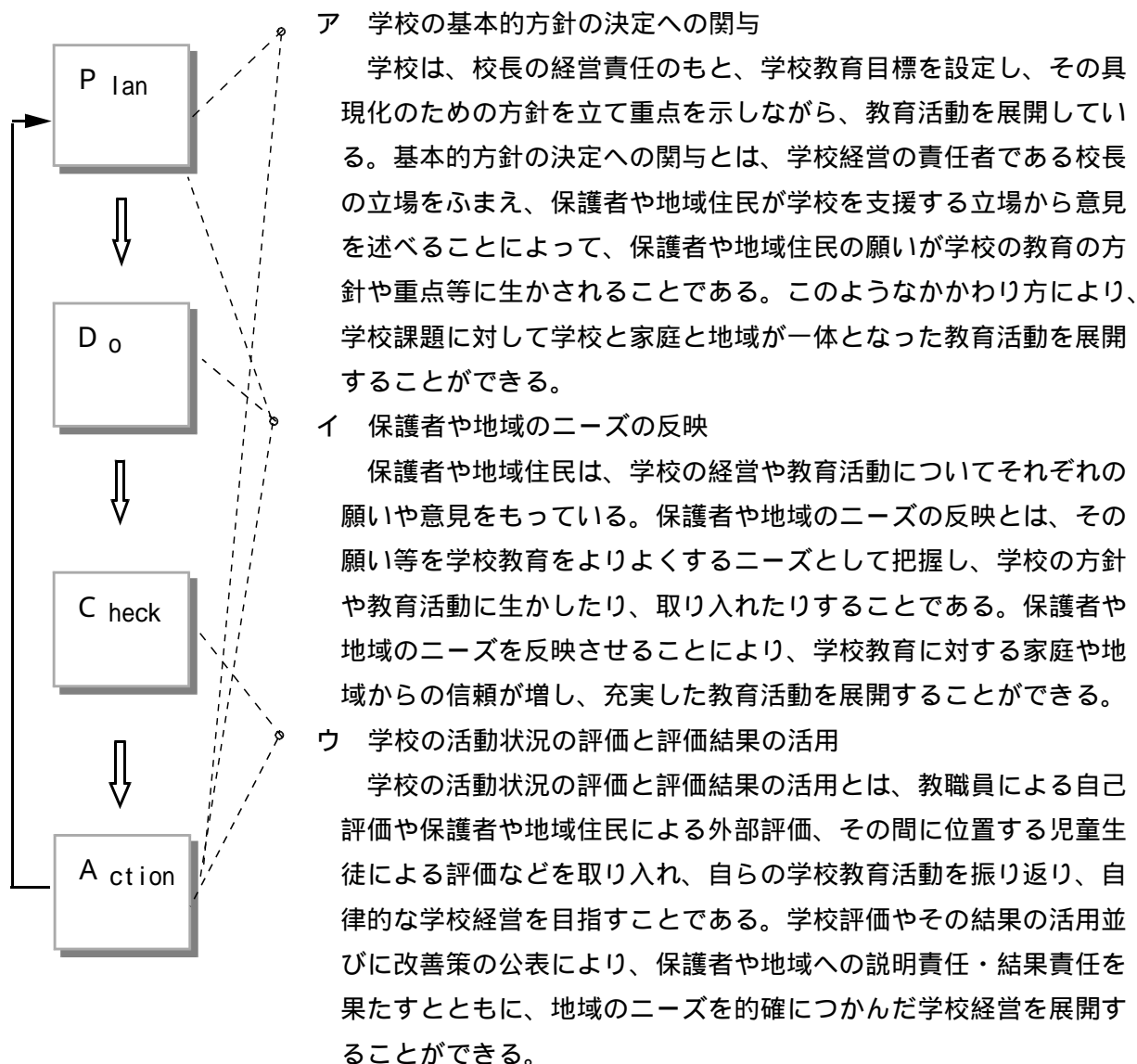
学校において、外部評価を含めた学校の活動状況の評価と評価結果を活用しながら、保護者や地域住民の声を把握し、説明責任を遂行しようという意識が高まる。

保護者や地域住民のニーズを教育の方針や指導の重点などに生かすことにより、保護者や地域住民自らが学校教育の基本的方針の決定に関与し、責任を負っているという意識が高まる。

学校の所在する地域の特性を生かすことにより、その地域ならではの特色ある学校づくりを進めることができる。

(3) 地域の学校経営参画の方向性

本研究では、前出の(2)イの「地域の学校経営参画の可能性」を受けて、地域の学校経営参画を「学校の基本的方針の決定への関与」「保護者や地域のニーズの反映」「学校の活動状況の評価と評価結果の活用」の三つの観点から、次のようにとらえることとした。



このようにとらえた地域の学校経営参画を、経営サイクル(P)(D)(C)(A)により構想し進めるものとする。

(4) 地域社会との連携による学校経営の進め方についての基本構想図

次頁の【図1】は、地域社会との連携による学校経営の進め方についての基本的な考え方をまとめたものである。

地域社会との連携による学校経営の進め方についての基本構想図

学校を取り巻く状況

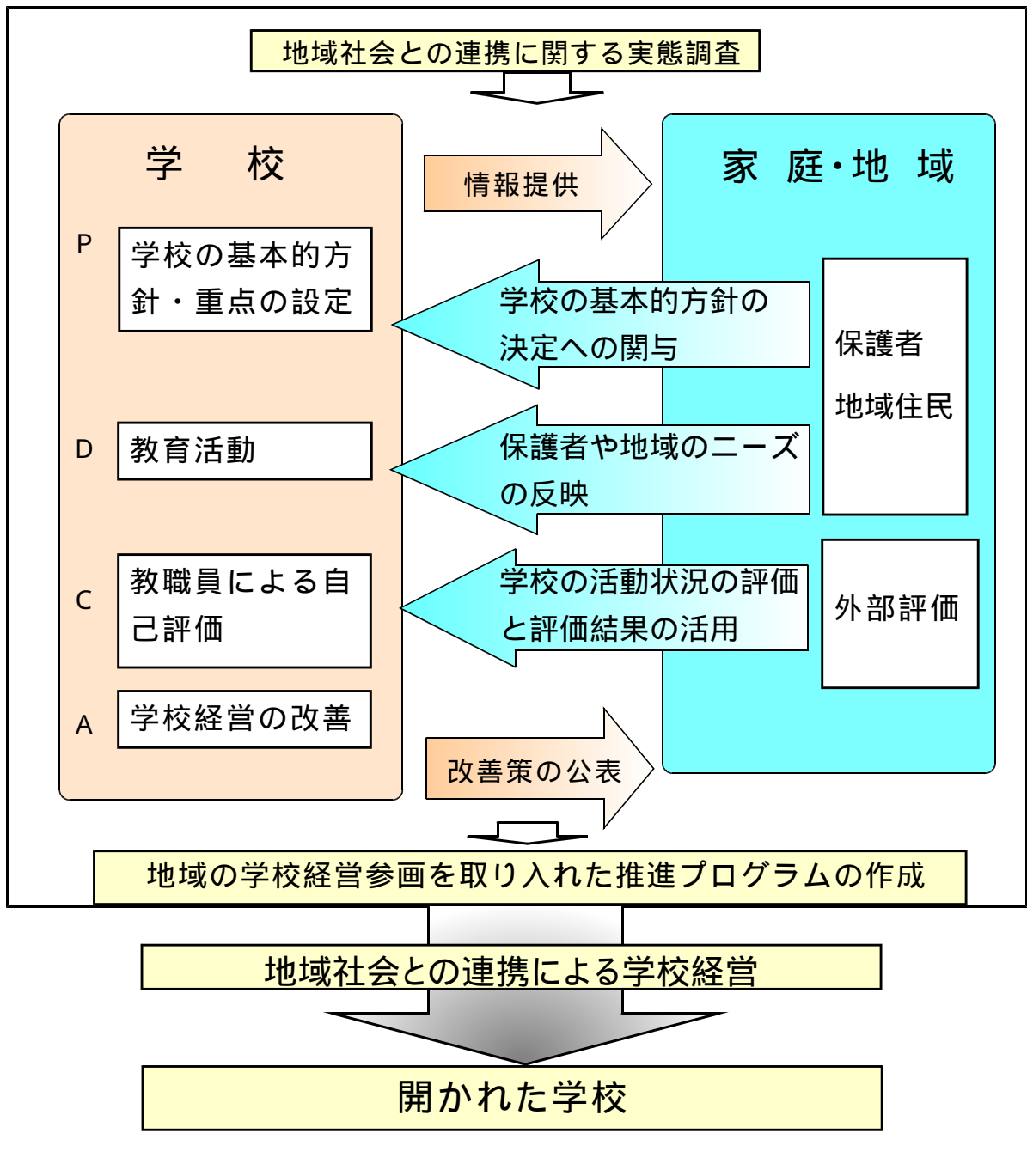
- ・児童生徒をめぐる問題が顕在化している
- ・問題を校内で解決しようとし、外に情報を出さないで見られている

教育改革の流れ

- ・説明責任・結果責任の遂行
- ・学校評議員制度
- ・外部評価を含む学校評価
- ・評価結果の公表の努力義務と積極的な情報提供
- ・地域運営学校の設置

保護者の意向

- ・学校運営に、地域住民として意見を述べたい
- ・ボランティアとして手伝いたい



【図1】 地域社会との連携による学校経営の進め方についての基本構想図

2 地域社会との連携に関する実態調査の実施及び分析と考察

(1) 地域社会との連携に関する実態調査の概要

ア 調査の目的

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する状況を、保護者や地域のニーズの把握並びに情報提供、学校評価の活用、地域の学校経営参画の構想・システムの観点からとらえ、地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案に役立てる。

イ 調査の対象

県内公立学校から校種や地域を勘案の上【表1】のように137校に調査依頼を行い、全校から回答を得た。

【表1】調査の対象校

校種	依頼校
小学校	80校
中学校	40校
県立学校	17校

聾学校、養護学校含む。

ウ 内容

【表2】地域社会との連携に関する実態調査

調査の観点	調査の内容
1 地域社会のニーズの反映の状況	(1) 学校における保護者や地域のニーズの把握方法 (2) 把握した保護者や地域のニーズの反映事例
2 地域社会への情報提供の状況	(1) 学校からの地域社会への情報提供の状況 (2) 情報提供が難しい理由
3 学校評価の状況	(1) 学校評価の実施状況 (2) 学校評価の結果公表の状況 (3) 外部評価の効果
4 地域社会の学校経営参画の構想・システムの状況	(1) 保護者や地域の学校経営参画への構想やシステムの有無 (2) 地域の学校経営参画についての懸念

(2) 地域社会との連携に関する実態調査結果の分析と考察

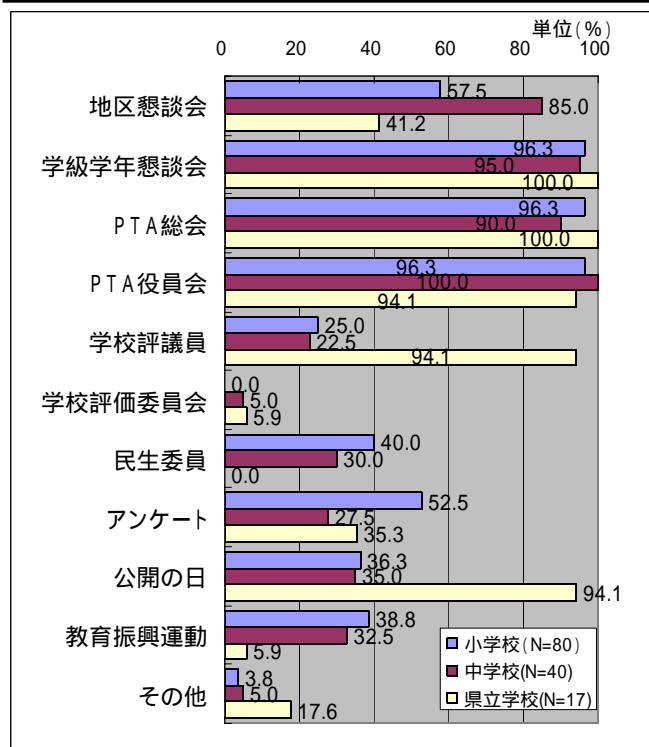
ここでは、実際に行った調査のうち、ニーズの反映、学校評価、学校経営参画の構想・システムの状況について示す。すべての集計結果は、巻末補充資料に掲載した。

ア 地域社会のニーズの反映の状況

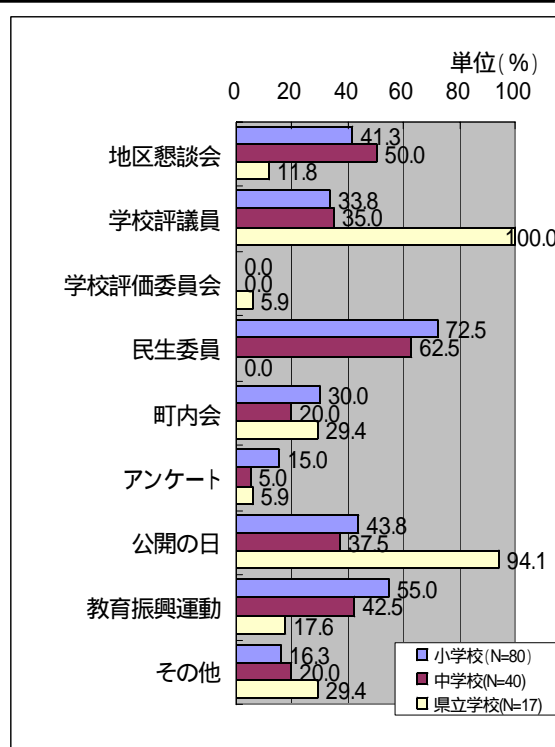
地域社会のニーズの反映の状況をみるために、保護者や地域のニーズの把握方法と反映させている事例について分析した。

【図2】は、保護者のニーズの把握方法の調査結果である。その結果、小中学校、県立学校

1 (1) あなたの学校では、保護者や地域の方の願い等をどのような方法で把握していますか。(複数回答可)



【図2】保護者のニーズの把握方法



【図3】地域のニーズの把握方法

ともに、学年学級懇談会やPTA活動を通してニーズの把握をしている。小中学校では地区懇談会、アンケート、教育振興運動などにより保護者のニーズを把握しており、学校評議員や学校へ行こう週間等公開の日の活用はやや少ない。また、県立学校では学校評議員制度と公開の日を利用し、身近な地域の組織等の活用は少ないことが分かる。【図3】は、地域のニーズの把握方法の調査結果である。小中学校では、民生委員や教育振興運動、地区懇談会などの地域の組織や活動を活用していること、また、県立学校では、学校評議員制度と学校へ行こう週間等の公開の日というシステムを地域のニーズの把握の場としていることが分かる。

学校の取り組み姿勢について岩手県教育委員会が実施した保護者アンケートの結果を表したものが【資料3】である。「学校から保護者への情報提供や地域の声を聴くこと」について、「取り組んでいる」という割合は全体の6割を越えている。しかし「取り組んでいない」は、およそ全体の4分の1を占めており、今後更に保護者や地域のニーズの把握に努める必要がある。その改善の方向として、小中学校では学校評議員や学校へ行こう週間等公開の日など、また県立学校では教育振興運動組織などの身近な教育資源を、自校の条件として活用することが必要と考える。

【資料3】学校の取り組み姿勢について

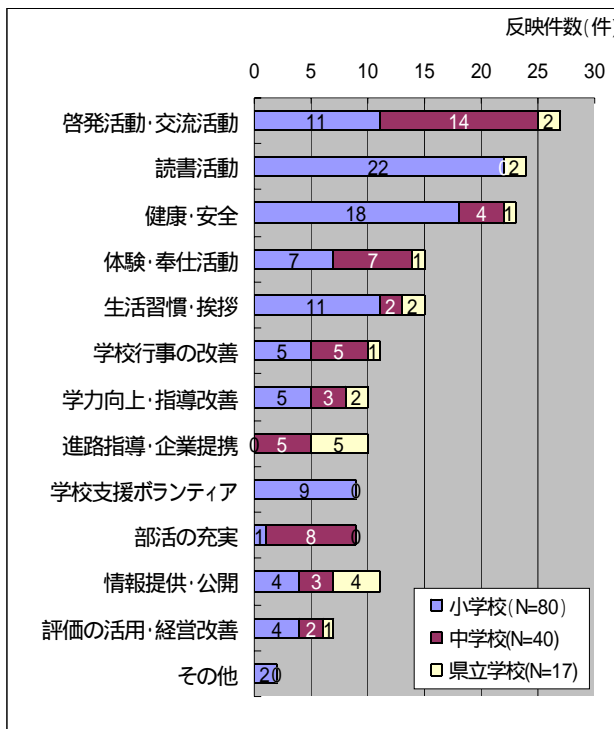
問い
あなたのお子さんが通っている学校は、保護者への情報の提供や地域の声を聴くことについての取組を積極的に行っていると思いますか。
(1つ選択)

回答	割合
積極的に取り組んでいる	16.0%
まあまあ取り組んでいる	49.3%
あまり取り組んでいない	21.0%
全く取り組んでいない	3.1%
よくわからない	10.6%

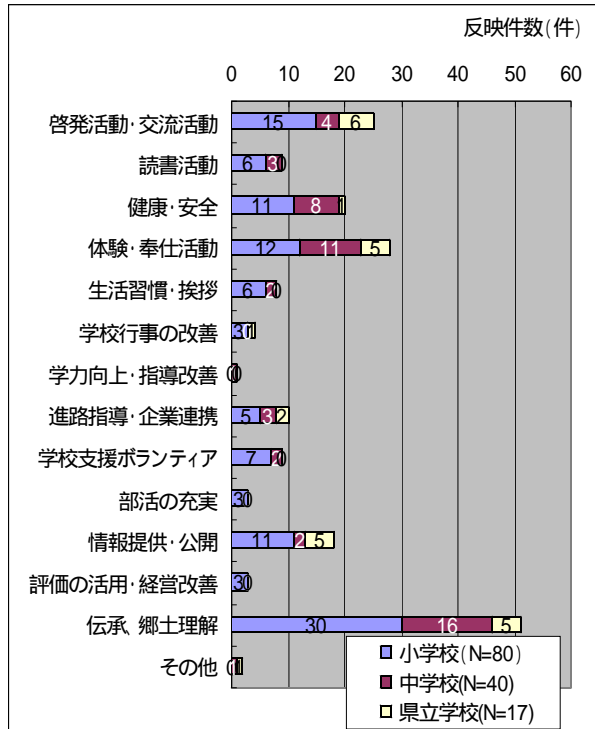
(保護者アンケート調査結果 県教委平成15年2月実施)
(公立小中学校、県立学校に修学する児童生徒の保護者169,641人)

【図4】は、保護者のニーズの反映事例を内容毎にまとめたものである。小学校の場合、読書活動の推進、健康・安全、基本的な生活習慣・挨拶にかかわる内容が多く、また中学校では、PTAとの協働による啓発・交流活動や体験・奉仕活動が多い。県立学校では、特に地域での

1(2) あなたの学校で、学校経営や教育活動の改善のために、保護者や地域の方の願いを反映させたり、また、その願いをもとに保護者や地域の方と連携して進めたりする事例がありましたら、お書きください。(自由記述)



【図4】保護者のニーズの反映事例



【図5】地域のニーズの反映事例

ボランティア活動を盛んに推し進めたり、進路指導とのかかわりで企業と連携した特色ある取組を行ったりしている。

【図5】は地域のニーズを反映している事例をまとめたものである。小中学校・県立学校において、地域と連携し、伝承活動や体験・奉仕活動が行われていることが分かる。これらの内容は、教育振興運動や各地区の児童生徒の健全育成のための協議会等が重点的な活動として取り組んでいるものであり、学校経営の重点として保護者や地域の組織と連携して進めていることが分かる。

これらのことから、保護者や地域のニーズを把握するための取組が更に必要であり、そのためには身近な地域の教育資源を見つめ自校の条件として生かしながら、よりよい活用を目指すことが必要と考える。

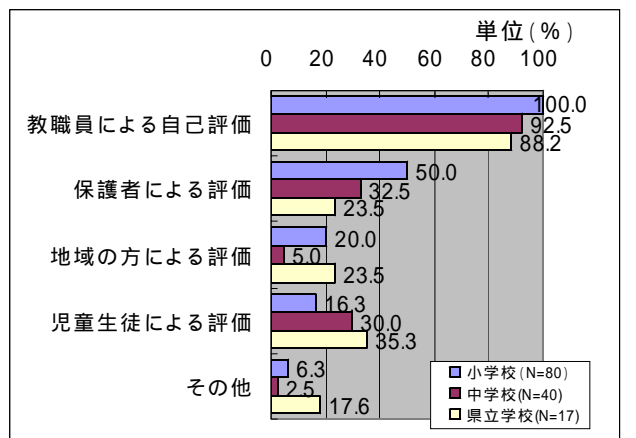
イ 学校評価の状況

【図6】は、学校評価の実施状況をまとめたものである。その結果をみると、教職員の自己評価は各校種において高い割合で行われている。保護者による評価を小学校では50%実施しているのに対し、中学校、県立学校ではやや低い。地域による評価は、およそ20%以下であり、児童生徒による評価もおよそ30%前後である。

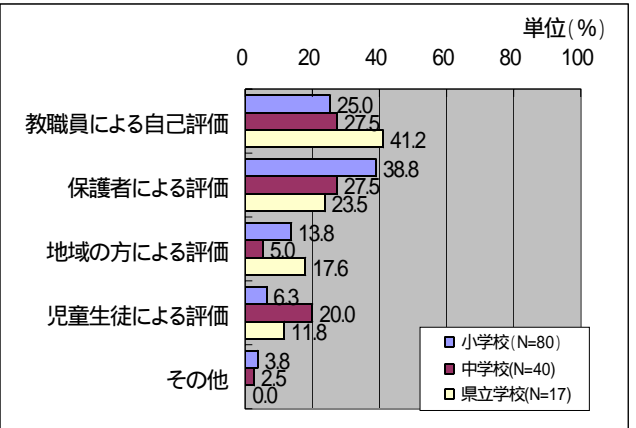
【図7】は、学校評価の結果の公表についてまとめたものである。公表する割合が全体的に低い。このように学校評価の実施や結果の公表が低率なのは、今までも外部評価を実施していないからという意識があること、評価結果を公表することにより新たな問題が生じる懸念があること、評価の目的や内容、方法が明確でない等の理由によるものと考えられる。

【図8】は、【図7】の保護者による評価、地域の方による評価を実施した学校における、外部評価の成果をまとめたものである。保護者や地域によ

3(1)あなたの学校では、学校経営や教育活動の状況について、どの評価を実施・公表していますか。(複数回答可)

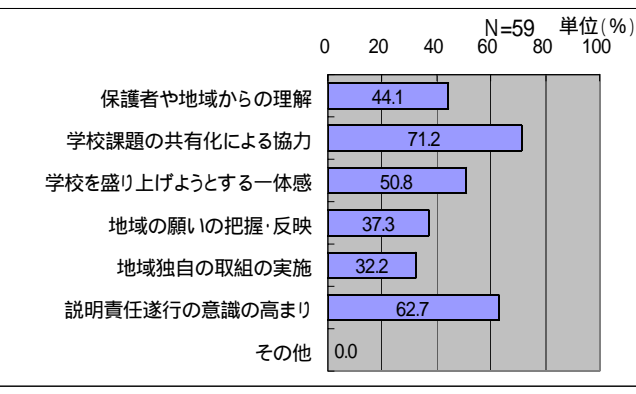


【図6】学校評価の実施状況



【図7】学校評価の結果公表の状況

3(3)保護者や地域の方による外部評価を実施したことにより、どのような成果がありましたか。(複数回答可)



【図8】外部評価の成果

る外部評価を行ったことにより、説明責任遂行に対する意識の高まりや学校課題の共有化などの成果が見られる。

これらのことから、学校評価において取り組みやすく公表にたえる外部評価を取り入れ、積極的な活用を図ることが必要であると考ええる。

ウ 地域の学校経営参画の可能性

【表3】は、保護者や地域の学校経営参画の構想やシステムの有無についてまとめたものである。約60%の学校が経営参画の構想やシステムを持っていると考えている。

【図9】は、構想やシステムを持っているとした学校の記述をまとめたものである。その結果、保護者や地域の学校経営参画を進めるシステムとして、学校評議員やPTA組織を活用している学校が多い。次いで地区懇談会や外部評価を行い、保護者や地域のニーズを把握・反映させ、学校経営に参画させようとしていることが分かる。

【図10】は、地域の学校経営参画についての懸念についてまとめたものである。懸念としては、「保護者や地域の学校経営参画によって、学校の主体性が失われないか」また、「一部の意見が強くなるのではないか」「多くの要望を反映させたり、新たなシステムを作ることで学校が更に多忙になる」などの意見があった。また、学校評議員を設置している学校においても、地域の学校経営参画のシステムとしては機能していないという状況もあった。

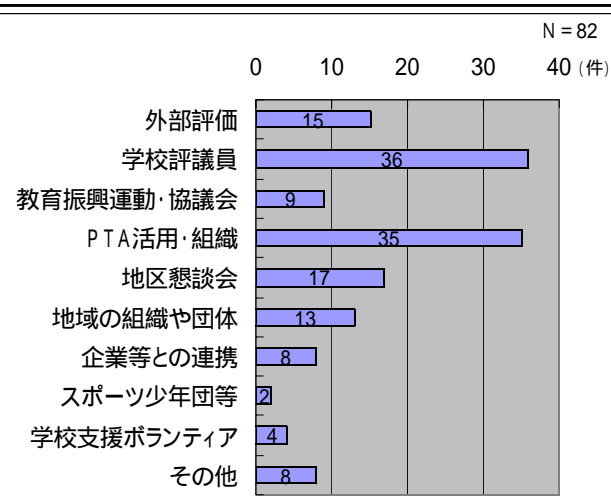
これらのことから、現在各学校や地域にある既存の組織を活用したり、発展させたりしながらニーズの的確な把握や学校経営への参画を進めるシステムを構築すること、また、その際には学校の主体性を保つための工夫を行いながら、地域の学校経営参画を進めていくことが重要であると考ええる。

【表3】地域の学校経営参画の構想・システムの有無

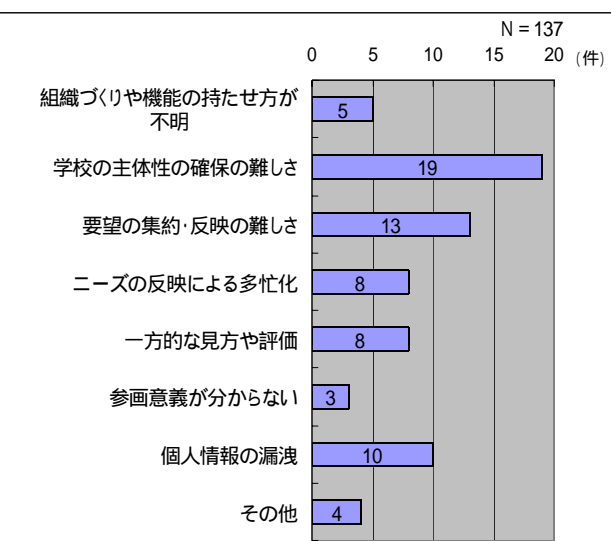
4 (1)あなたの学校では、保護者や地域の方の願いを学校経営や教育活動に反映させる等、保護者や地域の方の学校経営参画にかかわる構想やシステムをおもちですか。
ア もっている イ もっていない

学 校	もっている	もっていない
小学校 (N=80)	48校 (60.0%)	32校 (40.0%)
中学校 (N=40)	24校 (60.0%)	16校 (40.0%)
県立学校 (N=17)	10校 (58.8%)	7校 (41.2%)
合 計 (N=137)	82校 (59.9%)	55校 (40.1%)

4 (2)保護者や地域の方を学校経営に参画させる構想やシステムがありましたらお書きください。また、保護者や地域の方を学校経営に参画させることについて、懸念されることがありましたらお書きください。(自由記述)



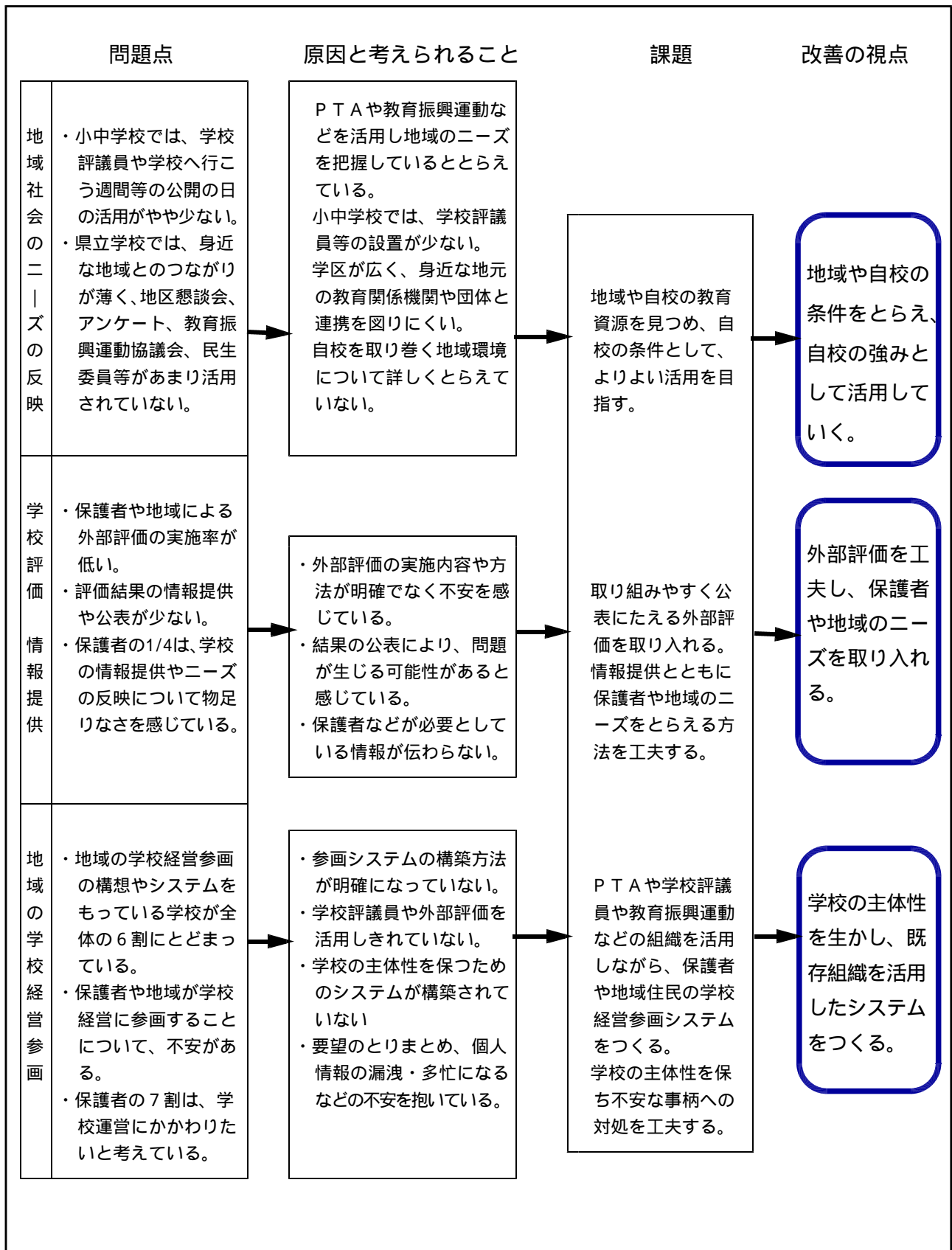
【図9】学校における地域の学校経営参画の構想やシステム



【図10】地域の学校経営参画についての懸念

(3) 地域社会との連携に関する実態調査結果のまとめ

実態調査の結果から、問題点とその原因をとらえ、地域社会との連携による学校経営における改善の視点を【図11】のようにとらえた。



【図11】実態調査結果に基づく地域社会との連携による学校経営の改善の視点

3 地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方並びに実態調査結果のまとめをふまえ、地域社会との連携による学校経営を進める基本方針を次のようにとらえる。

(1) 地域社会との連携による学校経営を進める基本方針

- (ア) 地域や自校の条件をとらえ、自校の強みとして重点事項や基本の方針等に生かす。
- (イ) 外部評価を取り入れ、保護者や地域のニーズを反映させ、地域社会から信頼される学校づくりに生かす。
- (ウ) 学校の主体性を生かすとともに、既存組織や身近にある組織等を活用しながら、保護者や地域住民が学校経営に参画するシステムをつくる。

この方針の(イ)は、「保護者や地域のニーズの反映」並びに「学校の活動状況の評価と評価結果の活用」にかかわるものである。また、(ア)と(ウ)は「学校の基本の方針の決定への関与」にかかわってその条件の整備や体制の構築を進めるものである。これらは 1 (3)「地域の学校経営参画の方向性」でとらえた観点であり、地域社会との連携による学校経営の進め方において地域の学校経営参画を取り入れることが大きな役割を果たすと考えられる。

(2) 地域社会との連携による学校経営の推進要件

地域社会との連携による学校経営の推進要件を、(1)の地域社会との連携による学校経営を進める基本方針をふまえ、「保護者や地域のニーズの反映」「学校の活動状況の評価と評価結果の活用」「学校の基本の方針の決定への関与」並びに「地域の学校経営参画のための条件の整備及び体制の構築」の観点からとらえることとする。

ア 「地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築」の観点からとらえた推進要件

学校教育において、その学校の置かれている地域環境、また保護者や地域住民の願いが大きな意味をもつ。そこで、自校の置かれている地域環境や条件を自校の強みとして位置付けたり、保護者や地域住民の願いから自校の役割を検討し、基本の方針や重点等に生かしたりすることが重要となる。また、既存の組織等を活用しながら学校経営や教育活動を評価し支援する体制を構築し、保護者や地域住民とともに学校課題を解決していくことが重要である。次に示すのは、「地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築」の観点からとらえた地域社会との連携による学校経営の推進要件と具体的な推進内容（印）である。

- 推進要件 1 地域や自校の条件を生かした基本の方針の検討
 - 地域や自校の条件の把握
 - 自校の役割の明確化
 - 自校の強みとしての重点事項や基本の方針等の設定
- 推進要件 2 地域の学校経営参画体制の構築
 - 既存組織の活用による地域の学校経営参画体制の構築
 - 学校の主体性を生かす仕組み
 - 地域の学校経営参画スケジュールの作成

イ 「保護者や地域のニーズの反映」の観点からとらえた推進要件

保護者や地域と連携した学校経営を進めるためには、保護者や地域のニーズを多様な方法で把握し、その内容を焦点化しながら反映することが重要である。また、保護者や地域住民

は、学校のために必要であれば協力したいと考えている。このニーズをとらえ、学校支援ボランティアや地域との協働活動へと発展させることが重要と考える。このように保護者や地域のニーズを教育活動に反映させることにより、地域の中の学校という意識が高まり、地域からの支援がさらに得られるようになる。

推進要件 3 地域との連携による教育活動の展開

地域環境や人的資源の活用	学校支援ボランティアの活用
家庭や地域との協働活動の推進	地域住民への学校機能の開放
学習環境の活用デザインの工夫	

推進要件 4 保護者や地域のニーズの反映

多様な方法によるニーズの把握
ニーズの反映

ウ 「学校の活動状況の評価と評価結果の活用」の観点からとらえた推進要件

学校から保護者や地域住民への情報提供は、学校の教育活動に対する理解とともに、学校への信頼感を高める上で、必要不可欠なものである。また、教育活動などの学校経営の状況について、学校の自己評価や保護者や地域住民による外部評価を実施し公表することは、保護者や地域住民からの信頼を一層厚いものにしていく。そこで、確かな学校理解につながる情報提供の内容や方法、外部評価の内容や方法、結果の公表方法などを検討することが必要である。

推進要件 5 確かな学校理解につながる情報の提供

情報提供の内容や方法、対象者の検討
情報提供の時期やサイクルの検討

推進要件 6 外部評価の導入

自己評価と外部評価の役割の検討	外部評価の内容と方法の検討
学校評議員の活用	評価結果の公表と改善
改善内容についての学校・家庭・地域の役割分担	

エ 「学校の基本的方針の決定への関与」の観点からとらえた推進要件

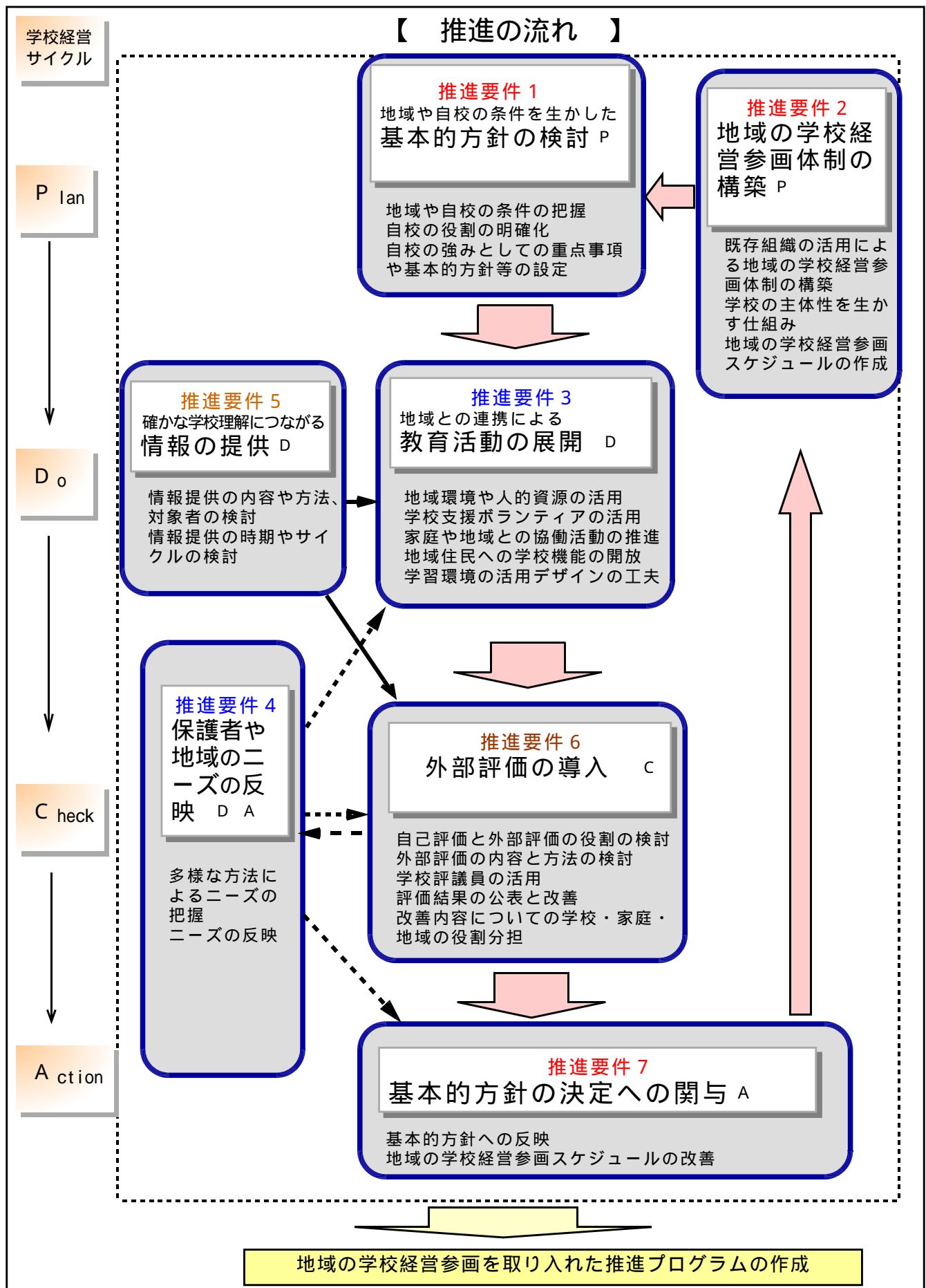
地域の学校経営参画について、保護者や地域住民との話し合いにより評価・反省・改善を行うことは、普段学校が見落としがちな点に気づくことができ、保護者や地域のニーズや改善の在り方をとらえ直すためにも重要である。校長の責任において、十分に検討した上で保護者や地域のニーズを基本的方針や重点などに取り入れることは、学校の目標と地域の願いを共有し、確かな協力のもとでの学校経営の改善に結び付くものとする。

推進要件 7 基本的方針の決定への関与

基本的方針への反映
地域の学校経営参画スケジュールの改善

(3) 地域社会との連携による学校経営についての推進構想図

(2)の地域社会との連携による学校経営の推進要件を受けて、地域社会との連携による学校経営の推進構想として、図にまとめたものが次頁の【図12】である。



【図12】地域社会との連携による学校経営についての推進構想図

4 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムの作成

(1) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムのねらいと構成

ア 推進プログラムの作成と活用のねらい

地域の学校経営参画を進める観点からとらえた地域社会との連携による学校経営の推進要件を示し、各学校が自校の地域連携における課題を具体的に把握し、地域社会との連携による学校経営や「開かれた学校づくり」を進めるシステムづくりに役立てる。

イ 内容構成の視点

開かれた学校づくりにおける国や岩手県、市町村などの教育改革の施策をふまえ、保護者や地域住民の願いに応える学校づくりに役立つ内容にする。

地域社会との連携による学校経営の推進要件を、「地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築」「保護者や地域のニーズの反映」「学校の活動状況の評価と評価結果の活用」「学校の基本的方針の決定への関与」という地域の学校経営参画の観点から内容毎に示す。

地域社会との連携による学校経営の推進要件を受けて、学校が地域との連携を進める際の具体的な推進内容並びに留意事項を示す。

これまでの地域社会との連携を振り返り、その取組や地域の学校経営参画サイクルを改善できるようにする。

ウ 基本構成と主な内容

地域社会との連携による学校経営の推進構想を基に、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を次のような観点と主な内容により構成することとした。

【表4】地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の基本構成

観 点	主 な 内 容
地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築	推進要件 1 地域や自校の条件を生かした基本的方針の検討 推進要件 2 地域の学校経営参画体制の構築
保護者や地域のニーズの反映	推進要件 3 地域との連携による教育活動の展開 推進要件 4 保護者や地域のニーズの反映
学校の活動状況の評価と評価結果の活用	推進要件 5 確かな学校理解につながる情報提供 推進要件 6 外部評価の導入
学校の基本的方針の決定への関与	推進要件 7 基本的方針の決定への関与

(2) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の特長

ア 教職員による話し合いや協働で検討する活動を通して、一人一人が学校経営の重要な役割を担っているという意識を育てることに役立つ。

イ 経営サイクルの構想(P)、実践(D)、評価(C)、改善(A)に基づき、地域の学校経営参画の全体像をとらえ、学校経営について評価・改善に活用できる。

ウ 地域の学校経営参画のための具体的な推進内容にそってチェック欄を設け、自校の実態を振り返ることができる。

エ 地域の学校経営参画のスケジュール例を簡潔に示すことにより、年間を通じた地域の学校経営参画の見通しをもつことができる。

(3) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案

地域の学校経営参画にかかわる具体的な推進内容を取り入れた推進プログラム案を次頁より示す。

地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案

チェック項目

地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築	
推進要件1 地域や自校の条件を生かした基本の方針の検討	
具体的な推進内容	留意事項
1 地域と自校の条件の把握 ・教育課題 2 自校の役割の明確化 3 自校の強みとしての重点事項や基本の方針等の設定	国や県の教育改革の動き、地元の教育運動等についての共通理解 職員による地域環境や自校の条件（資源、人材、情報等）の把握、自校の強みとしての採用 学校に対する保護者や地域のニーズの探索による、自校の役割の把握 地域のニーズと自校の役割の明確化による、重点事項等の洗い出しと基本の方針の設定 各分掌による具体化
推進要件2 地域の学校経営参画体制の構築	
具体的な推進内容	留意事項
1 既存組織の活用による地域の学校経営参画体制の構築 ・学校支援組織としての、地域組織の発展的な活用 2 学校の主体性を生かす仕組み 3 地域の学校経営参画スケジュールの作成（【資料4】参照）	P T A、学校評議員、教育振興運動など地域の組織の活用による学校支援組織「学校支援委員会(仮名)」等の設置。校長の意向を尊重した学校運営を支援する組織としての位置付け 学校評議員の役割の確認（諮問と協議の区別） 学校の主体性と地域のニーズが生きる人員構成 支援組織内における地域の指導者を紹介する窓口的存在の検討（P役員、学校評議員） 地域とのパイプとなる組織や担当の明確化 地域の学校経営参画についての基本的なスケジュールの確認と役割分担

保護者や地域のニーズの反映	
推進要件3 地域との連携による教育活動	
具体的な推進内容	留意事項
1 地域環境や人的資源の活用 ・地域資源、地域サークルの発掘、協力体制	年間指導計画の作成に当たって地域からの協力を得たい内容の洗い出し 総合的な学習の時間に関する地域資源、教科指導にかかる補助、道徳や特活の関連団体(学警連や親父の会等)、自然、社会、福祉等の体験

2	学校支援ボランティアの活用	学習の関連団体、産業界等の指導者情報の収集 学校支援ボランティアの組織の構築
3	家庭や地域との協働活動の推進	・総合的な学習の時間、特別活動、環境保全等での活用 地区活動の活用
4	地域住民への学校機能の開放	・学校経営や教育活動に役立つ公民館活動等の収集、学校の教育活動とのすりあわせ 教室や校内施設等の環境の見直し ・学校図書館、P C 教室等の整備・開放 ・平日の学校施設・教室の利用の可能性、休日の利用・管理、管理組織の確立 教師の地域活動への参加、公開講座の開催、校内人材の発掘
5	学習環境の活用デザインの工夫	余裕教室による地域公民館的機能、老人福祉分野におけるサロンの機能等の促進

推進要件4 「保護者や地域のニーズの反映」

具体的な推進内容		留意事項
1	多様な方法によるニーズの把握	多様な方法の検討（学校評価やアンケート、学校評議員、PTAによる把握、学校公開や授業参観等） 目的によるニーズ把握の内容・方法の検討（学校経営全般か、特色ある活動か）
2	ニーズの反映	ニーズの焦点化による反映 ・原因や課題による分類・整理 ・基本の方針との関連による優先順位の検討 ・反映させる場や時期、内容の吟味

学校の活動状況の評価と評価結果の活用

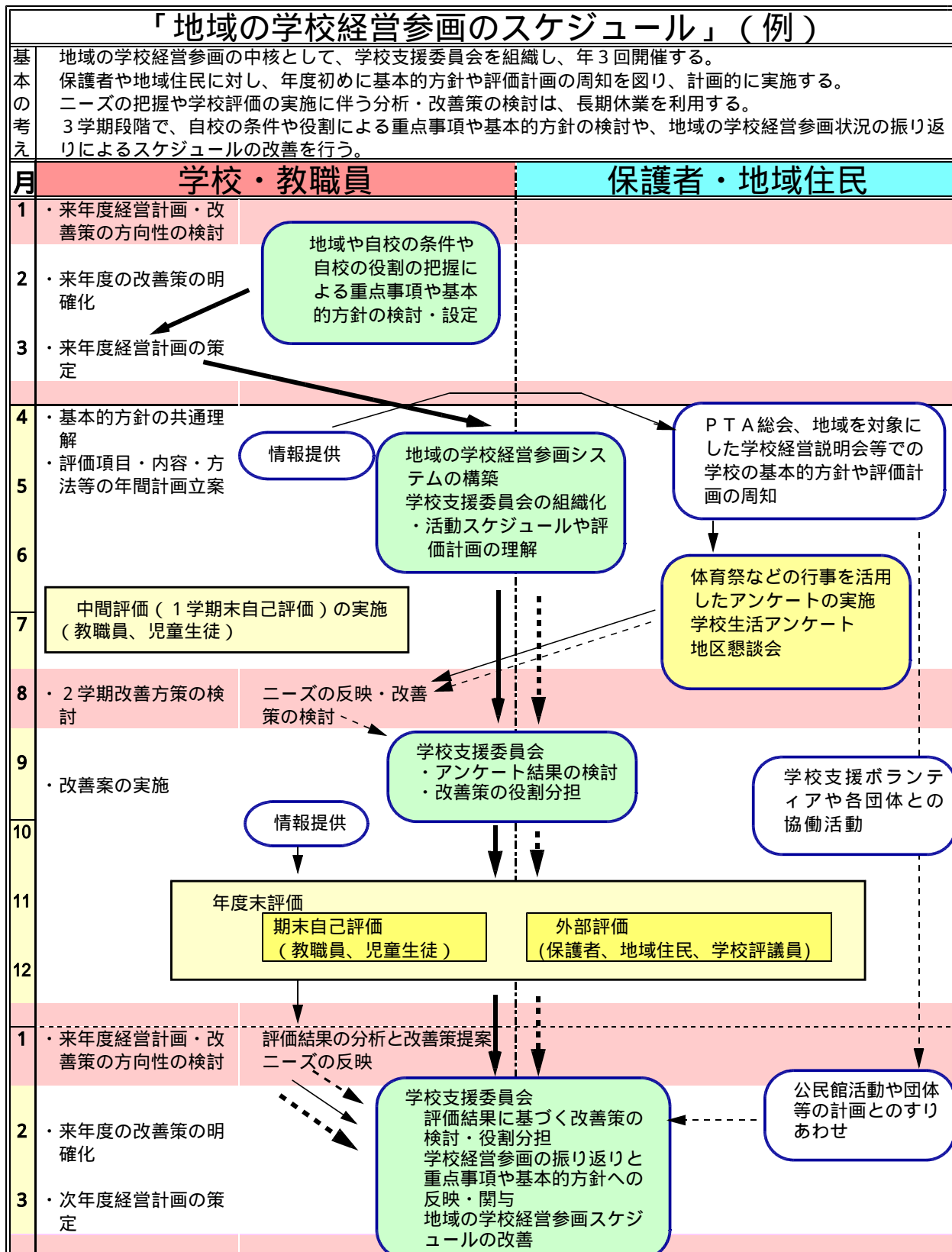
推進要件5 「確かな学校理解につながる情報の提供」

具体的な推進内容		留意事項
1	情報提供の内容、方法、対象者の検討	地域や学校の状況にあわせた、効果的な情報提供の方法の工夫（校報や通信、地域回覧用の学校要覧、地域回覧板、地区公報、地域住民による授業参観・学校行事、地区懇談会への案内） ・PTA役員、学校評議員を介しての保護者や地域への学校の教育活動の成果の伝達
2	情報提供の時期やサイクルの検討 ・年度当初の経営方針の説明 ・年度途中の情報提供	PTAの他、地域住民を対象にした学校経営の説明会等の検討・実施 ・特に学校からの願いや特色ある学校づくりに関する願いの発信

推進要件 6 「外部評価の導入」	
具体的な推進内容	留意事項
1 自己評価と外部評価の役割の検討 2 外部評価の内容と方法の検討 ・目的や内容、対象、方法、公表方法などの吟味 3 学校評議員の活用 4 評価結果の公表と改善 5 改善内容についての学校・家庭・地域の役割分担	自己評価と公表内容の吟味 結果の公表を前提とした評価の実施 ・保護者や地域の理解を得られるような内容や量 ・学校や子どもの状況を理解しているという基本的な評価者の姿 教職員における外部に対するニーズの把握 地域住民代表や評価者としての、学校評議員の位置付けの明確化 ・調査紙作成段階からの地域住民（学校評議員）や保護者の活用 評価結果による改善事項の洗い出し、改善の重点の明確化 ・学校、家庭、地域の代表者による分析 ・改善内容や方法の保護者や地域への周知 取組の共通意識化 ・学校・家庭・地域の協力・分担による改善への取組

学校の基本的方針の決定への関与	
推進要件 7 基本的方針の決定への関与	
具体的な推進内容	留意事項
1 基本的方針への反映 ・学校支援委員会による地域の学校経営参画の取組の振り返り 2 地域の学校経営参画スケジュールの改善（【資料4】参照） ・社会教育活動の活用	学校支援委員会等による評価・反省・改善 ・校長の意向を尊重した学校経営を支援する組織としての検討 ・重点事項の取組状況の評価・反省、意見・要望 ・学校支援委員の各分野での協力の在り方の検討 ・校長による学校支援委員会の意見の採用 学校経営参画の取組内容や時期の検討 ・次年度の参画にかかわる改善のための重点事項の確認 ・学校の教育課程やカリキュラムへの、公民館活動やサークル活動等の活用 ・社会教育行事計画とのすりあわせの場の設定（社会教育団体、各団体、経済界、教委）

【資料4】「地域の学校経営参画のスケジュール」



は長期休業中を示す

- (→) 主に地域の学校経営参画のための条件の整備や体制の構築に関する取組、(その流れ)
- (- ->) 主に保護者や地域のニーズの反映に関する取組、(その流れ)
- (→) 主に外部評価の活用に関する取組、(その流れ)
- (- ->) 主に基本の方針の決定への関与に関する取組、(その流れ)

研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

本研究における本年度の研究目標は、2年次研究の第1年次として、地域社会との連携に関する調査を実施し、その実態に応じた地域社会との連携による学校経営の推進構想を立案し、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムとして提示することであった。

ここでは、地域社会との連携に関する調査結果の分析と考察及び推進構想の立案、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムについて、概括的にまとめていくこととする。

- (1) 地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方についての検討
中教審答申や文献等を参考に、地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方について検討することができた。
- (2) 地域社会との連携に関する実態調査の実施及び分析と考察
地域社会との連携による学校経営の進め方に関する基本的な考え方を基に、実態調査を行い、その分析により以下のような課題をつかむことができた。
自校や地域の条件をとらえ、自校の強みとして活用していくこと
外部評価を工夫し、保護者や地域のニーズを取り入れること
学校の主体性を生かし、既存組織を活用したシステムをつくること
- (3) 地域社会との連携による学校経営の推進構想の立案
実態調査によって明らかになった課題に対応して、地域社会との連携による学校経営のための7つの推進要件をとらえ、地域社会との連携による学校経営の推進構想を立案することができた。
- (4) 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案の作成
推進構想及び研究協力員からの学校経営にかかわる情報や助言を基にして、地域社会との連携による学校経営の推進要件を示した地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案を作成することができた。

2 今後の課題

本年度の研究をふまえ、地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラム案に基づく実践を通して、地域社会との連携による学校経営の進め方の具体的方策について、実践的に究明していくことが課題である。

おわりに

この研究を進めるに当たり、ご協力いただきました研究協力員である校長先生方に心からお礼を申し上げます。

【主な参考文献】

- 浦野東洋一著(2003),『開かれた学校づくり』,同時代社
小島弘道編(2004),『学校における「情報提供」と「外部評価」のすすめ方』,教育開発研究所
金子郁容・鈴木寛・渋谷恭子著(2003),『コミュニティー・スクール構想』,岩波書店
木岡一明編(2004),『学校組織マネジメント研修』,教育開発研究所
木岡一明編(2003),『学校を取り巻く環境の把握と地域協働』,教育開発研究所
佐藤晴雄著(2002),『学校を変える 地域が変わる 相互参画による学校・家庭・地域連携の進め方』,教育出版
習志野市立秋津小学校(2003),『新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究第2年次研究報告』,習志野市立秋津小学校
西村文男・天笠茂・堀井啓幸編(2004),『新・学校評価の理論と実践 外部評価の活用と内部評価』,教育出版
葉養正明編(2004),『学校と地域の新しい関係づくり 「コミュニティー・スクール」の新展開』,教育開発研究所

地域社会との連携による学校経営の進め方に関する研究
- 地域の学校経営参画を取り入れた推進プログラムの作成をとおして -
(第1報)

補充資料

目次

//////////

補充資料1	「地域社会との連携に関する実態調査」用紙……………	資1
補充資料2	「地域社会との連携に関する実態調査」結果集計表……………	資4

//////////

《 補充資料 1 》「地域社会との連携に関する実態調査」用紙

この調査は、貴校における地域社会との連携の様子についてお聞きし、本県における学校経営の改善に役立てるものです。この調査について、学校や個人が特定できるような形で公表することはありませんので、ありのままをお答えください。
お忙しいことは存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

次の事項をご記入ください。

学校名	教育事務所名	立	小学校	自校の学級数
		立	中学校	
		県立	学校	
記入者	職名	氏名		

1 保護者や地域の願いの反映にかかわって、お答えください

- (1) あなたの学校では、学校に対する保護者や地域の方の願い等を、どのような方法で把握していますか。下表の保護者・地域の方それぞれにおける把握の方法について、下の記号の中からあてはまるものを選び、その記号に 印を付けてください。(複数回答可)

対 象	願いの把握方法 (選択肢)		
保護者	ア 地区懇談会	イ 学級・学年懇談会	ウ P T A 総会等
	エ P T A 役員会	オ 学校評議員(類似含む)	カ 学校評価委員会
	キ 民生委員との懇談会	ク アンケート	ケ 学校へ行こう週間等の公開の日
	コ 教育振興運動	サ その他 ()	
地域の方	ア 地区懇談会	イ 学校評議員(類似含む)	ウ 学校評価委員会
	エ 民生委員との懇談会	オ 町内会等の地区会合	カ アンケート
	キ 学校へ行こう週間等の公開の日	ク 教育振興運動	
	ケ その他 ()		

- (2) あなたの学校で、学校経営や教育活動の改善のために、保護者や地域の方の願いを反映させたり、また、その願いをもとに保護者や地域の方と連携して進めたりする事例がありましたら、お書きください。(自由記述)

対 象	願いを反映させている事例や願いをもとに連携して進めている事例
保護者	(例 P T A 活動方針「読書好きな子ども」と関連させて、朝自習で読書を取り上げている。)
地域の方	(例 地域の願いをとり入れ、学校経営の重点の一つとして伝統芸能の伝承活動を取り上げている。)

2 保護者や地域への情報提供にかかわって、お答えください。

(1) あなたの学校では、保護者や地域の方に対して、学校経営や教育活動の状況についてどのような情報を提供していますか。下の ~ のうち、情報提供している内容を選び、回答欄(A)に印を付けてください。(複数回答可)

情報提供している内容	回答欄			
	保護者に対して		地域の方に対して	
	提供している (A)	提供していない理由 (B)	提供している (A)	提供していない理由 (B)
目標や経営の重点等				
特色ある教育活動の取組				
充実した授業への取組				
学校に対するPTA・地域の協力の様子				
PTA・地域活動に対する学校からの働きかけ				
授業・行事参観等の開かれた学校への取組				
学校評価の結果				
学校評価の結果をもとにした改善策				
その他()				



(2) 情報を提供していない内容について、その理由を右表のA~カの中から選び、上の表の「提供していない理由(B)」欄に記号を記入してください。(複数回答可)

情報として提供しなかった理由(選択肢)	
ア	あまり重要でなく、提供する必要はないから
イ	今までも情報提供したり公表したりしていないから
ウ	公表することにより、誤解を生み、問題が生じる可能性があるから
エ	保護者や地域の方にかかわりの薄い内容だから
オ	情報として提供すべき対象や提供の仕方が分からないから
カ	その他()

3 学校評価にかかわって、お答えください。

(1) あなたの学校では、学校経営や教育活動の状況について、次のA~オのうちどの評価を実施・公表していますか。実施している場合、また、評価結果を公表している場合には、それぞれの回答欄に印を付けてください。(複数回答可)

評価の実施者	実施している	公表している
ア 教職員による評価		
イ 保護者による評価		
ウ 地域の方による評価		
エ 児童・生徒による評価		
オ その他 ()による評価		

- (2) 3(1)において、「イ 保護者による評価」、「ウ 地域の方による評価」を実施していると回答した学校のみ、お答えください。

あなたの学校で行っている「保護者による評価」や「地域の方による評価」において、どのような内容を評価していますか。下のア～キのうち、あてはまるものを選び、回答欄に 印を記入してください。(複数回答可)

評価している内容	回 答 欄	
	保護者による評価	地域の方による評価
ア 保護者や地域との、目標や経営の重点等の共有化		
イ 特色ある教育活動の取組		
ウ 充実した授業への取組		
エ 学校に対するPTA・地域の協力		
オ PTA・地域活動に対する学校からの働きかけ		
カ 授業・行事参観等の開かれた学校への取組		
キ その他()		

- (3) 保護者や地域の方による評価を実施している学校のみ、お答えください。
保護者や地域の方による外部評価を実施したことにより、どのような成果がありましたか。下のア～キのうち、あてはまるものを選び、その記号に 印を付けてください。(複数回答可)

ア 閉鎖的だといわれる学校が保護者や地域から理解され、教育活動への関心が高まった
イ 学校の目標や課題を共有することができ、協力が得られやすくなった
ウ 保護者や地域の方に、地域の学校として共に盛り上げようという意識が生まれた
エ 地域の願いを的確にとらえ、すばやく反映させることができるようになった
オ 学校は、保護者や地域の協力を得て、その地域ならではの取組ができるようになった
カ 学校に、説明責任を果たすという意識が高まった
キ その他()

- 4 保護者や地域の学校経営参画にかかわって、お答えください。
- (1) あなたの学校では、保護者や地域の方の願いを学校経営や教育活動に反映させる等、保護者や地域の方の学校経営参画にかかわる構想やシステムをおもちですか。
ア もっている イ もっていない
- (2) 保護者や地域の方を学校経営に参画させる構想やシステムがありましたらお書きください。また、保護者や地域の方を学校経営に参画させることについて、懸念されることがありましたら、下の欄にお書きください。(自由記述)

構想やシステム <hr/> 懸念されること
--

ご協力に心より感謝申し上げます。

《 補充資料2 》 「地域社会との連携に関する実態調査」結果集計表

1 保護者や地域の願いの反映にかかわって、お答えください

(1) あなたの学校では、学校に対する保護者や地域の方の願い等を、どのような方法で把握していますか。下表の保護者・地域の方それぞれにおける把握の方法について、下の記号の中からあてはまるものを選び、その記号に 印を付けてください。(複数回答可)

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
保護者のニーズの把握方法	ア 地区懇談会	46	57.5	34	85.0	7	41.2	87	63.5
	イ 学級学年懇談会	77	96.3	38	95.0	17	100.0	132	96.4
	ウ PTA総会	77	96.3	36	90.0	17	100.0	130	94.9
	エ PTA役員会	77	96.3	40	100.0	16	94.1	133	97.1
	オ 学校評議員	20	25.0	9	22.5	16	94.1	45	32.8
	カ 学校評価委員会	0	0.0	2	5.0	1	5.9	3	2.2
	キ 民生委員	32	40.0	12	30.0	0	0.0	44	32.1
	ク アンケート	42	52.5	11	27.5	6	35.3	59	43.1
	ケ 公開の日	29	36.3	14	35.0	16	94.1	59	43.1
	コ 教育振興運動	31	38.8	13	32.5	1	5.9	45	32.8
サ その他	3	3.8	2	5.0	3	17.6	8	5.8	

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
地域のニーズの把握方法	ア 地区懇談会	33	41.3	20	50.0	2	11.8	55	40.1
	イ 学校評議員	27	33.8	14	35.0	17	100.0	58	42.3
	ウ 学校評価委員会	0	0.0	0	0.0	1	5.9	1	0.7
	エ 民生委員	58	72.5	25	62.5	0	0.0	83	60.6
	オ 町内会	24	30.0	8	20.0	5	29.4	37	27.0
	カ アンケート	12	15.0	2	5.0	1	5.9	15	10.9
	キ 公開の日	35	43.8	15	37.5	16	94.1	66	48.2
	ク 教育振興運動	44	55.0	17	42.5	3	17.6	64	46.7
	ケ その他	13	16.3	8	20.0	5	29.4	26	19.0

(2) あなたの学校で、学校経営や教育活動の改善のために、保護者や地域の方の願いを反映させたり、また、その願いをもとに保護者や地域の方と連携して進めたりする事例がありましたら、お書きください。(自由記述)

調査内容	校種	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
保護者のニーズの反映事例	事例を記述した学校数 割合	66	82.5	33	82.5	9	52.9	108	78.8
	記述された反映事例数 (件)	99		53		21		173	
	啓発活動・交流活動	11		14		2		27	
	読書活動	22		0		2		24	
	健康・安全	18		4		1		23	
	体験・奉仕活動	7		7		1		15	
	生活習慣・挨拶	11		2		2		15	
	学校行事の改善	5		5		1		11	
	学力向上・指導改善	5		3		2		10	
	進路指導・企業提携	0		5		5		10	
	学校支援ボランティア	9		0		0		9	
	部活の充実	1		8		0		9	
	情報提供・公開	4		3		4		11	
	評価の活用・経営改善	4		2		1		7	
その他	2		0		0		2		
記述内容	<p>教育振興運動の重点やPTA活動方針と関連させ、朝読書や学校図書館の学級文庫の充実に取り組んでいる。(小)</p> <p>アンケートに基づきやり抜く子どもの育成のための徒歩遠足、地区懇談会の話し合いを生かし、各機関と連携した危険箇所の洗い出しをした。(小)</p> <p>交流の日として、各コーナーを設け地域住民、保護者、先生、子供のふれあいを深めている。(小)</p> <p>保護者の願いを取り入れ、ボランティアによる読み聞かせを業間時間に実施している。(小)</p> <p>家庭や学校での学習の仕方を保護者が理解できないとの意見を聴き、村内小中学校の先生と保護者との話し合いを経て、学年ごとの「学習のてびき」を作成し、その指導にあたった。(中)</p> <p>「開かれた学校」を目指して情報を出してほしいという要望から、月2回の校報を発行している。(中)</p> <p>学校教育目標の達成状況を自己評価し、その結果をPTAに公表し意見を聞き、日々の実践に生かしている。(中)</p> <p>PTAの活動内容に「合唱を通した子どもたちとの交流」があり、文化祭でPTA合唱を取り入れている。(中)</p> <p>PTA会報「総合学科10年を考える」の特集を組み、総合学科をより深く理解する活動を進めている。また、学校ホームページにPTA関係の情報を掲載し、PTA活動の活発化を図っている。(県)</p> <p>PTA活動方針にそって、朝の登校指導(声かけ)運動や学年・学級の進路説明会を実施している。(県) 等</p>								

(小)は小学校、(中)は中学校、(県)は県立学校を表す。

調査内容	校種 回答校数 割合	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)		
		校	%	校	%	校	%	校	%	
		62	77.5	33	82.5	11	64.7	106	77.4	
地域のニーズ の反映事例	記述された反映事例数(件)	65		36		20		135		
	反 映 事 例 の 内 容	啓発活動・交流活動	15		4		6		25	
		読書活動	6		3		0		9	
		健康・安全	11		8		1		20	
		体験・奉仕活動	12		11		5		28	
		生活習慣・挨拶	6		2		0		8	
		学校行事の改善	3		0		1		4	
		学力向上・指導改善	0		1		0		1	
		進路指導・企業連携	5		3		2		10	
		学校支援ボランティア	7		2		0		9	
		部活の充実	3		0		0		3	
		情報提供・公開	11		2		5		18	
		評価の活用・経営改善	3		0		0		3	
		伝承・郷土理解	30		16		5		51	
その他	0		1		1		2			
記述内容	<p>ふるさとの自然や地場産業を理解しふるさとを大切にすることを培うための、川の自然を守る活動や炭焼き体験、祖父母との交流等を行っている。(小)</p> <p>地域の保存会の指導を受け、郷土芸能の伝承活動を実施(敬老会、文化祭、地区の祭りで発表)している。(小)</p> <p>地区の公民館主催の陶芸教室を、図工の学習として本校で行った。(小)</p> <p>健全育成懇談会(年3回実施)による共通理解、取組を行う。(町内会長、施設長、主任児童委員、PTA役員、子供会育成会長、学校職員)(小)</p> <p>地域健全育成会や公民館との連携を通して、教育活動(教育講演会の実施、地区運動会や少年スポーツ大会への参加など)の充実に図っている。(中)</p> <p>民生児童委員の協力を得て、地域の独居老人宅、老人世帯へふれあい訪問をし、話し相手になったり、できる範囲の奉仕作業をしたりしている。(中)</p> <p>学校からの情報提供として、校報の全戸回覧、全世帯への運動会や文化祭の案内(生徒会)を実施している。(中)</p> <p>アンテナショップの開設、地元の小学生の農業体験学習の指導を通して、地域への情報発信と交流を図っている。(県)</p> <p>近隣の幼・小との合同運動会を実施し、さんさ踊りの指導を受けている。地域の特別支援の窓口として、地元教委と連携した乳幼児相談体制作りを検討中。(県)</p> <p>学校が生涯学習化社会の推進の一翼を担うための各公開講座の実施、教育施設の有効活用を図っている。(県)</p>									

2 保護者や地域への情報提供にかかわって、お答えください。
(1) あなたの学校では、保護者や地域の方に対して、学校経営や教育活動の状況についてどのような情報を提供していますか。下の ~ のうち、情報提供している内容を選び、回答欄(A)に 印を付けてください。(複数回答可)

調査内容	校種 選 択 肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
		保護者への 情報提供	目標や経営の重点等	79	98.8	39	97.5	15	88.2
特色ある教育活動の取組	77	96.3	39	97.5	16	94.1	132	96.4	
充実した授業への取組	74	92.5	38	95.0	13	76.5	125	91.2	
学校に対するPTAや地域の協力	79	98.8	38	95.0	16	94.1	133	97.1	
PTA・地域活動に対する学校からの働きかけ	71	88.8	38	95.0	17	100.0	126	92.0	
授業・行事参観等の開かれた学校への取組	80	100.0	40	100.0	17	100.0	137	100.0	
学校評価の結果	40	50.0	17	42.5	9	52.9	66	48.2	
学校評価の結果をもとにした改善策	37	46.3	15	37.5	5	29.4	57	41.6	
その他	4	5.0	1	2.5	1	5.9	6	4.4	

調査の内容	校種 選 択 肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
		地域への情 報提供	目標や経営の重点等	66	82.5	25	62.5	11	64.7
特色ある教育活動の取組	69	86.3	35	87.5	16	94.1	120	87.6	
充実した授業への取組	57	71.3	25	62.5	11	64.7	93	67.9	
学校に対するPTAや地域の協力	70	87.5	34	85.0	11	64.7	115	83.9	
PTA・地域活動に対する学校からの働きかけ	62	77.5	32	80.0	11	64.7	105	76.6	
授業・行事参観等の開かれた学校への取組	72	90.0	35	87.5	16	94.1	123	89.8	
学校評価の結果	31	38.8	11	27.5	7	41.2	49	35.8	
学校評価の結果をもとにした改善策	26	32.5	7	17.5	4	23.5	37	27.0	
その他	3	3.8	1	2.5	0	0.0	4	2.9	

(2) 情報を提供していない内容について、その理由を右表のA～カの中から選び、上の表の「提供していない理由(B)」欄に記号を記入してください。(複数回答可)

調査内容	情報提供の内容 選 択 肢	目標や経営の重点等	特色ある教育活動の取組	充実した授業への取組	学校に対するPTAや地域の協力	PTAや地域活動に対する学校からの働きかけ	授業・行事参観等の開かれた学校への取組	学校評価の結果	学校評価の結果をもとにした改善策
		保護者に情報を提供しない理由	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	0	0
	イ 今までも公表していない	1	1	1	0	2	0	18	18
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	1	0	7	6
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	0	0	0	0	0	0	4	4
小学校 N=80	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	0	0	0	0	1	0	4	6
	カ その他	0	0	1	1	2	0	11	11
中学校 N=40	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 今までも公表していない	1	1	1	1	1	0	18	19
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	0	0	3	3
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	0	0	0	0	0	0	0	0
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	0	0	0	1	1	0	0	1
	カ その他	0	0	0	0	0	0	4	4
県立学校N=17	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 今までも公表していない	1	0	2	1	0	0	2	5
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	0	0	0	0
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	0	0	0	0	0	0	0	0
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	カ その他	1	1	1	0	0	0	2	3
全体 N=137	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 今までも公表していない	3	2	4	2	3	0	38	42
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	1	0	10	9
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	0	0	0	0	0	0	4	4
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	0	0	0	1	2	0	4	7
	カ その他	1	1	2	1	2	0	17	18

調査内容	情報提供の内容 選 択 肢	目標や経営の重点等	特色ある教育活動の取組	充実した授業への取組	学校に対するPTAや地域の協力	PTAや地域活動に対する学校からの働きかけ	授業・行事参観等の開かれた学校への取組	学校評価の結果	学校評価の結果をもとにした改善策
		地域に情報を提供しない理由	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	1	0	2	0
	イ 今までも公表していない	6	4	6	2	3	2	21	21
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	1	0	7	7
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	0	0	2	0	0	0	4	5
小学校 N=80	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	2	1	3	1	2	1	5	8
	カ その他	4	4	6	5	5	3	16	16
中学校 N=40	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	1	0	0	0
	イ 今までも公表していない	11	3	10	4	4	3	18	19
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	1	0	4	3
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	1	1	1	1	0	0	0	0
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	0	1	1	0	0	1	1	3
	カ その他	2	1	2	2	2	1	9	7
県立学校N=17	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 今までも公表していない	4	0	5	5	6	1	6	6
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	0	0	0	0
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	1	0	1	0	0	0	0	0
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	1	1	2	3	2	0	1	1
	カ その他	1	0	0	0	1	0	3	3
全体 N=137	ア 重要でなく提供する必要がない	0	0	1	0	3	0	1	1
	イ 今までも公表していない	21	7	21	11	13	6	45	46
	ウ 公表により誤解や問題が出る	0	0	0	0	2	0	11	10
	エ 保護者や地域にかかわりの薄い内容	2	1	4	1	0	0	4	5
	オ 情報提供すべき対象や方法が不明	3	3	6	4	4	2	7	12
	カ その他	7	5	8	7	8	4	28	26

3 学校評価にかかわって、お答えください。

(1) あなたの学校では、学校経営や教育活動の状況について、次のア～オのうちどの評価を実施・公表していますか。実施している場合、また、評価結果を公表している場合には、それぞれの回答欄に 印を付けてください。(複数回答可)

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
学校評価の実施状況	ア 教職員による自己評価	80	100.0	37	92.5	15	88.2	132	96.4
	イ 保護者による評価	40	50.0	13	32.5	4	23.5	57	41.6
	ウ 地域の方による評価	16	20.0	2	5.0	4	23.5	22	16.1
	エ 児童生徒による評価	13	16.3	12	30.0	6	35.3	31	22.6
	オ その他	5	6.3	1	2.5	3	17.6	9	6.6

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
学校評価の結果公表の状況	ア 教職員による自己評価	20	25.0	11	27.5	7	41.2	38	27.7
	イ 保護者による評価	31	38.8	11	27.5	4	23.5	46	33.6
	ウ 地域の方による評価	11	13.8	2	5.0	3	17.6	16	11.7
	エ 児童生徒による評価	5	6.3	8	20.0	2	11.8	15	10.9
	オ その他	3	3.8	1	2.5	0	0.0	4	2.9

(2) 3(1)において、「イ 保護者による評価」、「ウ 地域の方による評価」を実施していると回答した学校のみ、お答えください。あなたの学校で行っている「保護者による評価」や「地域の方による評価」において、どのような内容を評価していますか。下のア～キのうち、あてはまるものを選び、回答欄に 印を記入してください。(複数回答可)

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=40)		中学校(N=13)		県立学校(N=4)		合計(N=57)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
保護者による評価(内容)	ア 保護者との目標・重点等の共有化	32	80.0	11	84.6	4	100.0	47	82.5
	イ 特色ある教育活動の取組	32	80.0	13	100.0	3	75.0	48	84.2
	ウ 充実した授業への取組	31	77.5	11	84.6	4	100.0	46	80.7
	エ 学校に対するPTAや地域の協力	23	57.5	9	69.2	2	50.0	34	59.6
	オ PTAや地域に対する学校からの働きかけ	13	32.5	8	61.5	3	75.0	24	42.1
	カ 参観等の開かれた学校への取組	32	80.0	13	100.0	3	75.0	48	84.2
	キ その他	5	12.5	0	0.0	1	25.0	6	10.5

調査内容	校種 選択肢	小学校(N=16)		中学校(N=2)		県立学校(N=4)		合計(N=22)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
地域による評価(内容)	ア 地域との目標・重点等の共有化	11	68.8	2	100.0	4	100.0	17	77.3
	イ 特色ある教育活動の取組	16	100.0	2	100.0	3	75.0	21	95.5
	ウ 充実した授業への取組	10	62.5	2	100.0	3	75.0	15	68.2
	エ 学校に対するPTAや地域の協力	11	68.8	1	50.0	2	50.0	14	63.6
	オ PTAや地域に対する学校からの働きかけ	9	56.3	2	100.0	2	50.0	13	59.1
	カ 参観等の開かれた学校への取組	16	100.0	2	16.7	4	100.0	22	100.0
	キ その他	2	12.5	0	0.0	0	0.0	2	9.1

(3) 保護者や地域の方による評価を実施している学校のみ、お答えください。保護者や地域の方による外部評価を実施したことにより、どのような成果がありましたか。下のア～キのうち、あてはまるものを選び、その記号に 印を付けてください。(複数回答可)

調査内容	校種 外部評価による成果があったと回答した学校数 割合	小学校(N=41)		中学校(N=14)		県立学校(N=4)		合計(N=59)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
外部評価の成果	ア 保護者や地域からの理解の深まり	18	43.9	7	50.0	1	25.0	26	44.1
	イ 学校課題の共有化による協力	32	78.0	8	57.1	2	50.0	42	71.2
	ウ 学校を盛り上げようとする一体感	24	58.5	4	28.6	2	50.0	30	50.8
	エ 地域の願いの把握・反映	16	39.0	5	35.7	1	25.0	22	37.3
	オ 地域独自の取組の実施	14	34.1	5	35.7	0	0.0	19	32.2
	カ 説明責任遂行の意識の高まり	23	56.1	10	71.4	4	100.0	37	62.7
	キ その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

Nは、保護者による評価または地域の方による評価のうち、どちらか一方を実施している学校も含む

4 保護者や地域の学校経営参画にかかわって、お答えください。
 (1) あなたの学校では、保護者や地域の方の願いを学校経営や教育活動に反映させる等、保護者や地域の方の学校経営参画にかかわる構想やシステムをおもちですか。

調査内容	校種 選 択 肢	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
地域の学校経営参画への構想やシステムの有無	ア もっている	48	60.0	24	60.0	10	58.8	82	59.9
	イ もっていない	32	40.0	16	40.0	7	41.2	55	40.1

(2) 保護者や地域の方を学校経営に参画させる構想やシステムがありましたらお書きください。また、保護者や地域の方を学校経営に参画させることについて、懸念されることがありましたら、下の欄にお書きください。(自由記述)

調査内容	校種 構想やシステムがあると回答した 学校数 割合	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
		48	97.6	24	78.6	10	100.0	82	59.9
学校における地域の学校経営参画への構想やシステム	記述内容数 記述の割合	82		40		25		147	
	外部評価の活用	12	25.0	1	4.2	2	20.0	15	18.3
	学校評議員の活用	16	33.3	11	45.8	9	90.0	36	43.9
	教育振興運動・協議会等の活用	8	16.7	1	4.2	0	0.0	9	11.0
	PTA活動・組織の活用	16	33.3	11	45.8	8	80.0	35	42.7
	地区懇談会の活用	11	22.9	5	20.8	1	10.0	17	20.7
	地域の組織や団体の活用	9	18.8	3	12.5	1	10.0	13	15.9
	企業等との連携	5	10.4	2	8.3	1	10.0	8	9.8
	スポーツ少年団等の活用	2	4.2	0	0.0	0	0.0	2	2.4
	学校支援ボランティアの活用	2	4.2	2	8.3	0	0.0	4	4.9
	その他	1	2.1	4	16.7	3	30.0	8	9.8
記述内容	<p>PTA代表や地域団体の代表者で構成している教育振興委員会において、学校経営の方針や重点、具体的な取組の内容を説明し、学校経営への参加、協力依頼をしている。(小)</p> <p>子供達の活動を積極的に支援(「活動支援隊」)することを活動の重点におき、教育活動への支援(勤労生産、伝承活動)、スポーツ活動の支援、放課後児童の居場所作りへの支援など学校経営又はそれに準ずる活動に参加できるようなシステムがある。(小)</p> <p>地域連携協議会の名称で、PTAを含む35名を委嘱し、毎月学校情報を提供し、年間1回の授業参観を実施、意見をもらっている。(中)</p> <p>学校評議員を任命し、学力向上推進会議に学校評議員の出席を求めるなどスクールアドバイザーとして学校経営に対する助言を受ける機会を設けている。(中)</p> <p>民生委員との定期的な懇談会や教育課程(総合的な学習の時間)の中で地域の人材活用を積極的に推進する。(中)</p> <p>現在のPTA活動、同窓会活動を充実発展させること、また学校評議員制度、学校へ行こう週間等の充実により、保護者や地域の声を反映できる。(県)</p> <p>PTA専門委員会(公報委員会、校外生活委員会、学習委員会、環境整備委員会、母親委員会)、学校評議員、同窓会、地元の企業関係者対象の授業見学会、情報交換会(県)等</p>								

調査内容	校種 懸念があると回答した学校数 割合	小学校(N=80)		中学校(N=40)		県立学校(N=17)		合計(N=137)	
		校	%	校	%	校	%	校	%
		33	41.3	18	45.0	9	90.0	60	43.8
地域の学校経営参画についての懸念	記述された内容数(件)	36		21		13		70	
	組織づくりや機能の持たせ方が不明	3		2		0		5	
	学校の主体性の確保の難しさ	10		5		4		19	
	要望の集約・反映の難しさ	7		5		1		13	
	ニーズの反映による多忙化	5		2		1		8	
	一方的な見方や評価	2		4		2		8	
	参画意義が分からない	3		0		0		3	
	個人情報の漏洩	4		2		4		10	
その他	2		1		1		4		
記述内容	<p>地域の要望や願いを取り入れたいが、限られた時間の中で無理なことや児童の加重負担となるような場合があり、共通理解が難しい。(小)</p> <p>本来、家庭や地域で行うべき事が学校に要求されないか、また参画により学校の教育活動の負担が増えないか。(小)</p> <p>保護者や地域の方の意見や発案をどのように取捨選択し、実現していくか。(小)</p> <p>学校の主体性を維持するために、どんな内容をどの範囲で情報提供すればいいのか慎重に考える必要がある。(中)</p> <p>現状を適切に把握しないまま要求を押し通そうとしたり、学校批判や教師批判が出るようであれば、学校不信や教師の志気低下につながりかねない(人選、どの程度の参加か、検討の必要あり)。(中)</p> <p>日常的な教育活動がない状態での一面的な見方からの提案がなされる。(県)</p> <p>生徒の個人情報保護の上から、どこまでの範囲で参画させることができるのか(県)</p> <p>保護者の意見の多くは改善に向けた前向きな内容であり、耳を傾け、取扱いには校長がきちんと判断することが最善の方法、舵取りのできるよう、自らの力量を高める努力をしたい。(県)</p>								